

# インドネシア×日本 国際共同制作公演



迷い蝶とは、台風で予期せぬ場所に飛ばされ、海を渡っても、その同一性を作り替えて生き続ける蝶のことだ。  
この共同制作はその過程が、相手の中に自分を探す旅路そのものであり、他者との新たな関わり方を発見する。  
どこかに属するために、あるいは、空を求めて彷徨うように。  
インドネシアと日本、互いの身体表現を模索しながら激しく、愛おしく続けられていく対話。

## 映像 / 音楽 / ダンス

[ 世界初演 ]

# To Belong / Suwung

[www.akikokitamura.com/tobelong/](http://www.akikokitamura.com/tobelong/)

■ 振付・演出・出演：北村明子

ドラマトゥルグ・演出・出演：ユディ・アフマッド・タジュディン

出演：エンダ・ララス、リアント、大手可奈、西山友貴、川合ロン、ルルク・アリ

音楽監督：森永泰弘

ドラマトゥルグ・映像制作：山田咲

映像監督・制作：兼古昭彦

音楽(インドネシア)：Slamet Gundono

Kill the DJ (Jogja Hip Hop Foundation)、Endah Laras

演奏(日本)：石井麻依子、齋木なつめ、小林妙子、武本秀美、谷口宏樹

音楽制作：CONCRETE

衣装デザイン・制作：堂本教子

テクニカルディレクション・美術・照明：関口裕二 (balance, Inc. DESIGN)

宣伝美術：兼古昭彦

宣伝写真：兼古昭彦、Kuang Jingkai

制作：瀧本麻璃英

広報：山野辺明香

主催：Office A/LB、Dance New Air

助成：アサヒ公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

全国税理士共栄会文化財団

■ 「Dance New Air - ダンスの明日」 [www.dancenewair.jp](http://www.dancenewair.jp)

主催：公益財団法人児童育成協会(こどもの城 青山劇場・青山円形劇場)

スパイラル/株式会社フコールアートセンター、Dance New Air 実行委員会

後援：インドネシア共和国大使館他

## 青山円形劇場

2014.10.3 fri 19:00

10.4 sat 15:00

10.5 sun 15:00

※開場は開演の20分前(予定)

### 全席自由席

□ 前売券 ¥3,800 ( 学生 ¥2,500 ) □ 当日券 ¥4,300

□ はしご券 ¥6,500 [各日20枚限定]

1日に2公演楽しめるスペシャルチケット

□ 通し券 ¥22,000 [30枚限定]

全8作品を各1回ずつ観覧できるお得なチケット

※未就学児の入場はご遠慮願います。

[チケット取り扱い]

・Dance New Air オンラインチケット [www.dancenewair.jp](http://www.dancenewair.jp)

・電話予約：カンフェティチケットセンター

0120-240-540 (受付時間 平日10:00~18:00)



北村明子

Akiko Kitamura  
振付家・ダンサー・  
信州大学人文学部准教授  
[www.akikokitamura.com](http://www.akikokitamura.com)

早稲田大学在学中、カンパニー Leni-Basso を結成、文化庁派遣在外研修員としてベルリンに留学。  
'01年 Bates Dance Festival(USA)、'03年 American Dance Festival(USA) にて委託作品発表。  
'01年代表作 "fnks" は多数都市で上演され、モンリオール HOUR 紙 '05年ベストダンス作品賞受賞。  
'05年ベルリン「世界文化の家」の委託作品 "ghostly round" は世界各国で絶賛を得た。  
'10年よりソロ活動開始。'11年よりアジア国際交流企画 To Belong project を推進、'12年ジャカルタ、東京、神戸で作品を発表。「To Belong - dialogue -」にて第7回日本ダンスフォーラム賞を受賞。海外作品やCM、映画、演劇、オペラなどの振付・出演も積極的に行う。



ユディ・アフマッド・タジュディン

Yudi Ahmad Tajudin  
演出家・俳優

インドネシアを代表する劇団テアトル・ガラシの芸術監督。ジョグジャカルタを本拠地とし、舞台芸術の伝統と、現代的演出法の融合を模索し、実験的な現代演劇の創造活動を行っている。異分野のアーティストとの共同作業を行い、インドネシアのジャーナリスト、詩人のグナワン・モハマドや、現代音楽家トニー・ブラボウ作曲のオペラ「Tan Malaka」を演出。また、日本の演出家坂手洋二氏、宮城聡氏らとの共同制作を行い、シンガポール、ベルリンなど、国際的な活動も積極的に行う。'06年、テンポ誌におけるディレクター・オブ・ザ・イヤーに選ばれる。'11~'12年秋から冬6ヶ月間、ACCグラントを得てニューヨークに滞在。



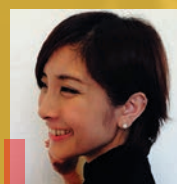
エンダ・ララス  
Endah Laras



大手可奈  
Kana Ote



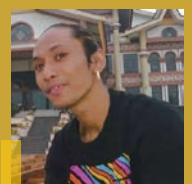
リアント  
Rianto



西山友貴  
Yuki Nishiyama



川合ロン  
Llon Kawai



ルルク・アリ  
Luluk Ari



青山円形劇場 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1 TEL. 03-3797-5678  
渋谷駅 [東口・宮益坂側出口] 徒歩10分/表参道駅 [B2出口] 徒歩8分 [www.aoyama.org/](http://www.aoyama.org/)